

促成キュウリ栽培で、べと病、褐斑病、うどんこ病、コナジラミ類などの発生に注意し、防除を徹底しましょう

施設のキュウリ促成栽培では、昨年12月から年明けにかけて気温の寒暖差が大きく、また、朝夕の冷え込みが強くなってきて、施設内の環境制御や肥培管理に苦労されていることと思います。この時期、施設内が多湿環境で経過すると、べと病や褐斑病などが発生しやすくなり、また、施設内が乾燥気味だと、うどんこ病が発生しやすい傾向があります。これらの病害は、葉裏や枝葉の込み合っている場所から発生しやすく、見逃していると、急激に進展することがあります。

病害虫発生予報1月号（病害虫防除所）によると、12月中旬現在、キュウリべと病の発生は平年並です。例年キュウリ促成栽培では今後、べと病の他に褐斑病やうどんこ病、退緑黄化病や黄化病の媒介虫であるコナジラミ類などが発生しやすくなる時期ですので、これら病害虫の早期発見に努めてください。また、今後とも適正な整枝、剪定作業や肥培管理を行うとともに、晴天の日をねらって農薬の予防散布に努め、更に、病害虫の発生初期に的確な防除を徹底してください。

＜防除のポイント＞

- 1 施設内の過湿を防ぐため、除湿機の稼働や暖房機の送風、換気などに努め、適正な温湿度の管理を行ってください。
- 2 株間の通風をよくする整枝や剪定、樹勢維持のための適切な灌水や追肥など、栽培管理に努めてください。
- 3 株の下葉や葉の込み合っている部分の葉裏などを丁寧に観察して、病害虫の早期発見に努めます。
- 4 病害虫の発生を確認したら、早期に薬剤防除を行います。散布は十分量の薬液で、葉裏や下葉にもよくかかるよう丁寧に行うことが重要で、夕方までには薬液が乾く時間帯に行ってください。なお、既に多発生した場合には、発病葉や茎などをできるだけ除去した後に行い、病患部に薬液が十分散布できるようにします。
- 5 薬剤耐性菌や抵抗性害虫の出現を抑制するため、同一分類（コード）の連続散布は避けてローテーション防除してください。

表1 キュウリべと病の主な防除薬剤 (令和5年1月18日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	その他の対象病害	分類
プロポーズ顆粒水和剤 ※	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 3回以内	うどんこ病、褐斑病、黒星病	40とM5
ペンコゼブ（ジマンダイセン）水和剤 ※※	600~800倍	収穫前日まで / 3回以内	褐斑病、炭疽病、黒星病	M3
カーゼートPZ水和剤 ※※	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 3回以内		27とM3
フェスティバルM水和剤 ※※	750~1,000倍	収穫前日まで / 3回以内		40とM3
ランマンフロアブル	1,000~2,000倍	収穫前日まで / 4回以内		21
ダコニール1000 ※	1,000倍	収穫前日まで / 12回以内	うどんこ病、灰色かび病、褐斑病など	M5

注1) 表1、2の分類欄にはFRACコード（コードが2つは混合剤）を記載しました。同一分類（コード）の連用は避けてください。

注2) 表1、2の薬剤名欄※は有効成分TPN、※※はマンゼブを含みます。総使用回数に注意してください。

表2 キュウリ褐斑病の主な防除薬剤 (令和5年1月18日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	その他の対象病害	分類
ペンコゼブ（ジマンダイセン）水和剤 ※※	600倍	収穫前日まで / 3回以内	炭疽病、黒星病、べと病など	M3
ベルコートフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 7回以内	うどんこ病、灰色かび病、菌核病など	M7
セイビアーフロアブル20	1,000倍	収穫前日まで / 3回以内	灰色かび病、菌核病	12
ダコニール1000 ※	1,000倍	収穫前日まで / 12回以内	うどんこ病、灰色かび病、べと病など	M5
フルピカフロアブル	2,000~3,000倍	収穫前日まで / 4回以内	うどんこ病、灰色かび病	9
ゲッター水和剤	1,500倍	収穫前日まで / 5回以内	灰色かび病、菌核病、炭疽病	1と10

表3 キュウリ コナジラミ類の主な防除薬剤 (令和5年1月18日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	その他の対象害虫	分類
ディアナSC	2,500倍	収穫前日まで / 2回以内	アザミウマ類、ハモグリバエ類など	5
トランスファームフロアブル	1,000~2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	アブラムシ類	4C
ベストガード水溶剤	1,000~2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	アブラムシ類、ミナミキイロアザミウマなど	4A
コロマイト乳剤	1,500倍	収穫前日まで / 2回以内	ハダニ類など	6
サンマイトフロアブル	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 2回以内	アブラムシ類、ハダニ類など	21A
モベントフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	アザミウマ類、アブラムシ類、ハダニ類	23
グレーシア乳剤	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	アザミウマ類、ハダニ類など	30
ベネビアOD	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	アザミウマ類、アブラムシ類など	28

注) 表3の分類欄にはIRACコードを記載しました。同一分類（コード）の連用は避けてください

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 NEWS は JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。